



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月2日

上場会社名 TOA株式会社

コード番号 6809 URL <http://www.toa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 井谷 憲次

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 田中 利秀

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

TEL 078-303-5620

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	30,341	5.1	2,322	4.9	2,783	16.0	1,740	22.9
26年3月期第3四半期	28,858	13.6	2,213	3.1	2,400	4.1	1,415	4.9

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 3,139百万円 (16.1%) 26年3月期第3四半期 2,704百万円 (64.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	51.39	—
26年3月期第3四半期	41.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	49,148	38,314	74.6
26年3月期	47,449	36,671	74.2

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 36,689百万円 26年3月期 35,216百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	18.00	28.00
27年3月期	—	10.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年3月期期末配当金の内訳 安定配当10円 業績連動配当8円

27年3月期期末配当金(予想)につきましては、平成26年5月2日に「配当方針の変更および配当予想の修正ならびに企業価値向上への取組みに関するお知らせ」にて公表したとおり、安定配当10円に連結配当性向35%を目安とした業績を加味して決定いたします。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,200	13.6	5,000	17.4	5,000	12.5	3,100	15.1	91.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	34,536,635 株	26年3月期	34,536,635 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	672,414 株	26年3月期	670,928 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	33,865,330 株	26年3月期3Q	33,866,542 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、国内では金融緩和を背景にした緩やかな景気の回復が見られるものの、急激な為替変動など、先行きに不透明感が漂っております。海外では、欧州経済の足踏みが続き、中国経済は成長率鈍化が見られましたが、米国経済については順調な回復を持続しております。

このような環境の下、国内市場においては、ネットワーク配信技術と業務用音響、映像に関する商品・技術を組み合わせた高度なソリューションの提案や、顧客ニーズを先取りした商品ラインアップの拡充により、販売を拡大しております。海外市場においては、各地域の顧客ニーズに応えた地域商品の提供や、新たな販路開拓により、各地域での販売を伸ばしております。

当第3四半期連結累計期間における売上高は30,341百万円（前年同四半期比+1,483百万円、5.1%増）となりました。利益については、原価率の上昇や販売費及び一般管理費の増加はあったものの、売上高が増加したことにより営業利益は2,322百万円（前年同四半期比+109百万円、4.9%増）、経常利益は2,783百万円（前年同四半期比+383百万円、16.0%増）、四半期純利益は1,740百万円（前年同四半期比+324百万円、22.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

売上高は19,103百万円（前年同四半期比+251百万円、1.3%増）、セグメント利益（営業利益）は3,628百万円（前年同四半期比△12百万円、0.3%減）となりました。

街頭防犯カメラやネットワークカメラシステム等のセキュリティ商品の販売は堅調に推移しました。また、減災・防災関連市場に加え、鉄道関連等への売上高も増加しましたが、為替円安による原価率の上昇や販売費及び一般管理費の増加などにより、セグメント利益は減少しました。

(アメリカ)

売上高は2,198百万円（前年同四半期比+427百万円、24.1%増）、セグメント利益（営業利益）は△5百万円（前年同四半期比+52百万円）となりました。

アメリカの鉄道車両向けやカナダ地域での売上高増加などにより、セグメント利益は増加しました。

(欧州・ロシア)

売上高は3,841百万円（前年同四半期比+666百万円、21.0%増）、セグメント利益（営業利益）は520百万円（前年同四半期比+201百万円、63.0%増）となりました。

ロシア地域の売上高は減少しましたが、欧州や中近東での販売が伸長したことや、アフリカ南部への販売網整備などにより、売上高、セグメント利益は増加しました。

(アジア・パシフィック)

売上高は4,014百万円（前年同四半期比+124百万円、3.2%増）、セグメント利益（営業利益）は533百万円（前年同四半期比+54百万円、11.4%増）となりました。

為替変動による売上高の目減りはありましたが、地域商品の販売が堅調に推移したことや、タイで商業施設向けの販売が増加したことなどにより、売上高、セグメント利益は増加しました。

(中国・東アジア)

売上高は1,183百万円（前年同四半期比+13百万円、1.1%増）、セグメント利益（営業利益）は166百万円（前年同四半期比+85百万円、105.3%増）となりました。

台湾、香港地域の売上高は減少しましたが、中国国内で商業施設向けや空港向けの販売が伸長したことや、為替円安による売上高増加もあり、売上高、セグメント利益は増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第 3 四半期連結会計期間末における総資産は49,148百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,699百万円の増加となりました。資産の部における増加の要因は、投資有価証券の評価替えにより、投資その他の資産が増加したことなどです。負債及び純資産の部における増加の要因は、会計方針の変更に伴う退職給付に係る負債の増加、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加などです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年 3 月期の通期の業績予想につきましては、「平成26年 3 月期決算短信」で公表しております当初予想から変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年 5 月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年 5 月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第 1 四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法について、平均残存勤務期間に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第 1 四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第 1 四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が647百万円増加し、利益剰余金が417百万円減少しております。なお、当第 3 四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,925	14,230
受取手形及び売掛金	9,809	8,197
有価証券	2,200	2,000
商品及び製品	5,979	6,906
仕掛品	462	817
原材料及び貯蔵品	2,039	2,251
その他	1,248	1,570
貸倒引当金	△114	△107
流動資産合計	35,550	35,867
固定資産		
有形固定資産	6,913	6,643
無形固定資産	1,169	1,295
投資その他の資産		
投資その他の資産	3,816	5,352
貸倒引当金	△1	△10
投資その他の資産合計	3,815	5,342
固定資産合計	11,898	13,281
資産合計	47,449	49,148
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,765	3,713
短期借入金	626	526
未払法人税等	695	229
引当金	304	478
その他	2,073	1,858
流動負債合計	7,465	6,806
固定負債		
退職給付に係る負債	2,435	2,862
その他	876	1,165
固定負債合計	3,311	4,027
負債合計	10,777	10,834
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,279	5,279
資本剰余金	6,866	6,866
利益剰余金	22,299	22,674
自己株式	△389	△391
株主資本合計	34,056	34,429
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,509	2,526
為替換算調整勘定	△100	△113
退職給付に係る調整累計額	△249	△153
その他の包括利益累計額合計	1,159	2,259
少数株主持分	1,455	1,625
純資産合計	36,671	38,314
負債純資産合計	47,449	49,148

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	28,858	30,341
売上原価	15,668	16,653
売上総利益	13,190	13,688
販売費及び一般管理費	10,976	11,365
営業利益	2,213	2,322
営業外収益		
受取利息	20	21
受取配当金	43	63
為替差益	29	298
その他	114	106
営業外収益合計	208	488
営業外費用		
支払利息	15	15
その他	6	12
営業外費用合計	22	28
経常利益	2,400	2,783
特別利益		
固定資産売却益	—	42
特別利益合計	—	42
税金等調整前四半期純利益	2,400	2,826
法人税等	828	897
少数株主損益調整前四半期純利益	1,571	1,928
少数株主利益	155	188
四半期純利益	1,415	1,740

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,571	1,928
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	255	1,016
為替換算調整勘定	877	30
退職給付に係る調整額	—	163
その他の包括利益合計	1,132	1,210
四半期包括利益	2,704	3,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,458	2,840
少数株主に係る四半期包括利益	245	299

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連 結損益計 算書計上 額
	日本	アメリカ	欧州・ ロシア	アジア・パ シフィック	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	18,852	1,771	3,175	3,889	1,170	28,858	—	28,858
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,733	39	1	2,548	2,522	9,846	△9,846	—
計	23,586	1,810	3,177	6,437	3,692	38,704	△9,846	28,858
セグメント利益又は損 失(△) (営業利益又は営業損 失(△))	3,640	△58	319	479	81	4,461	△2,248	2,213

(注) セグメント利益の調整額△2,248百万円には、セグメント間取引消去△35百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,212百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連 結損益計 算書計上 額
	日本	アメリカ	欧州・ ロシア	アジア・パ シフィック	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	19,103	2,198	3,841	4,014	1,183	30,341	—	30,341
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,700	21	6	3,334	2,478	10,541	△10,541	—
計	23,803	2,220	3,848	7,348	3,661	40,882	△10,541	30,341
セグメント利益又は損 失(△) (営業利益又は営業損 失(△))	3,628	△5	520	533	166	4,843	△2,520	2,322

(注) セグメント利益の調整額△2,520百万円には、セグメント間取引消去△111百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,408百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。